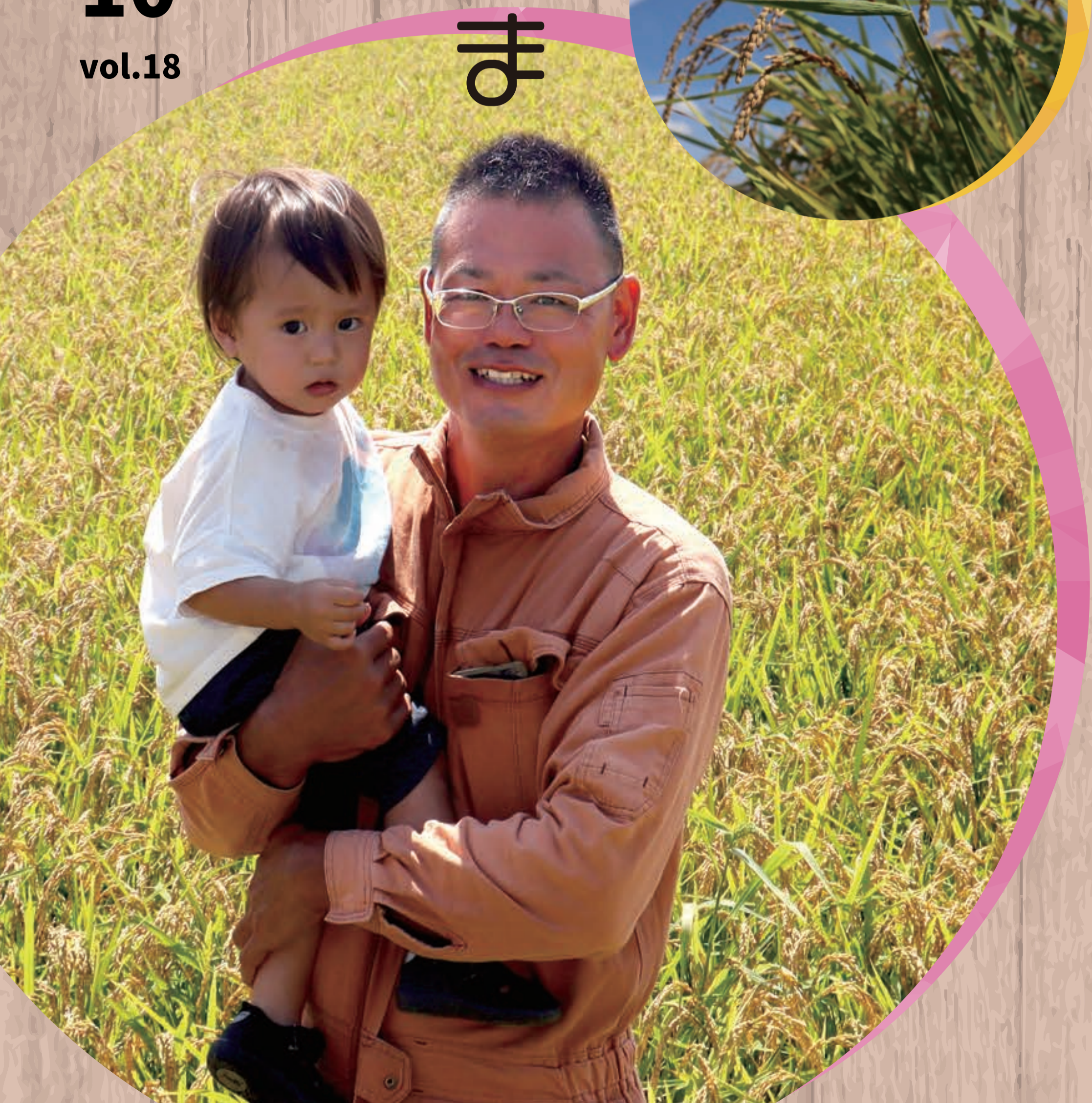


ZOONDE
—DUNOZ

まち
も
ま



2021
10
vol.18



農作物共済

NEW 稲作農家の皆様へ

POINT 1 一筆方式が廃止されます

- 水稲共済の一筆方式は、制度改正により令和3年産をもって廃止されます。令和4年産からは青色申告の方は**収入保険**へ、米の乾燥調製を全て外部へ委託されている方などは**全相殺方式**へ、それ以外の方は**半相殺方式**への移行をおすすめしています。
- 農家ごとの減収に応じて共済金を算定する全相殺方式や半相殺方式などには、収穫量が50%以上減収した圃場に対し、50%減収として共済金をお支払いする**一筆半損特約**が選択できます。わずかな掛金負担で圃場ごとの大きな被害に備えられます。ぜひ、特約を付けてご加入ください。

POINT 2 令和4年産から白色申告書でも全相殺方式へ加入できるようになります

- これまでの全相殺方式は、米の乾燥調製を全て集荷業者など外部へ委託されている方か、青色申告者のいずれかの方しか加入することができませんでしたが、令和4年産からは**白色申告関係書類**でも加入できるようになります。
- **全相殺方式とは？**
全方式の中で**最も補償範囲が広く**、加入者の収穫量の**最高9割**まで補償します。実際に乾燥調製した数量や確定申告書で共済金を算定するので、共済金のお支払い内容が明確に把握できます。

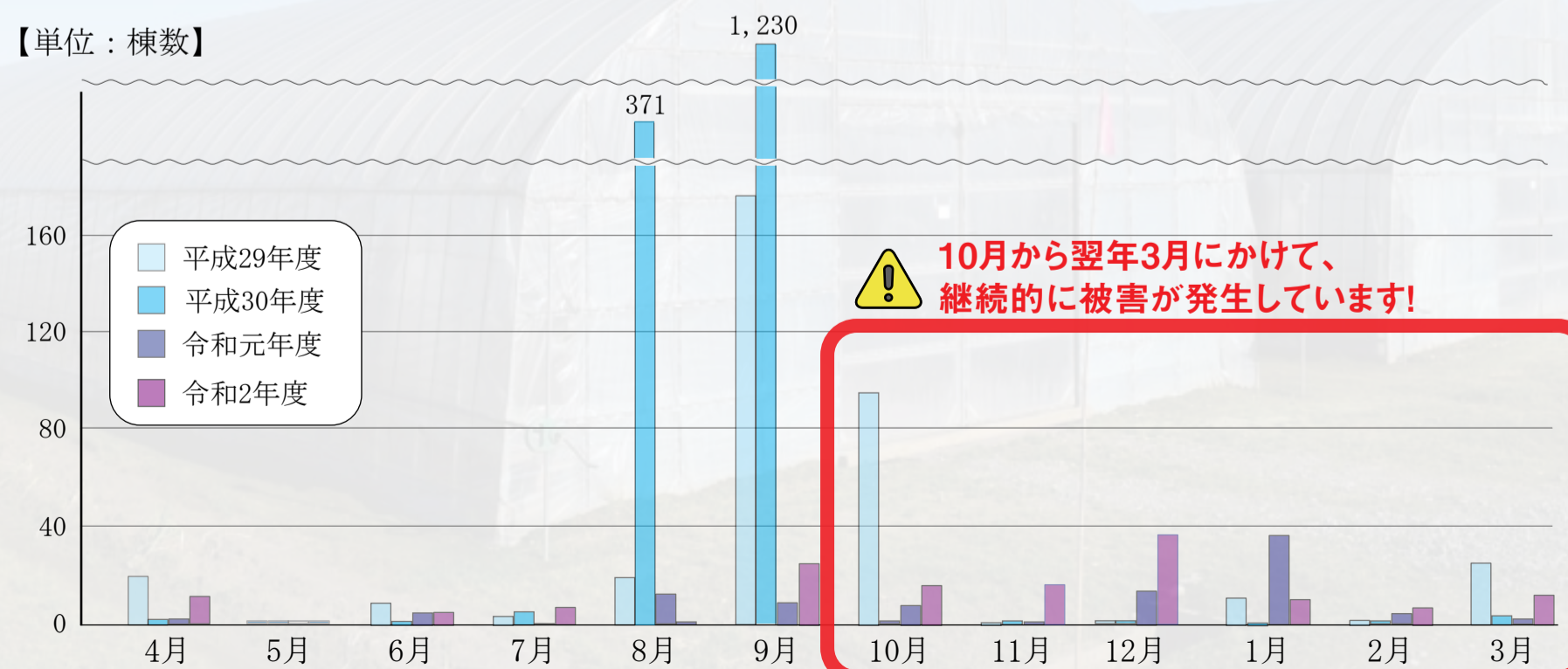
園芸施設共済



毎年、10月から翌年3月にかけて園芸施設の被害は継続して発生しています。万が一の被害に備えて、園芸施設共済に加入しましょう！

▶ 園芸施設共済は、さらに**補償が充実**しました！毎月**10日**または**25日**から加入できます！

【単位：棟数】

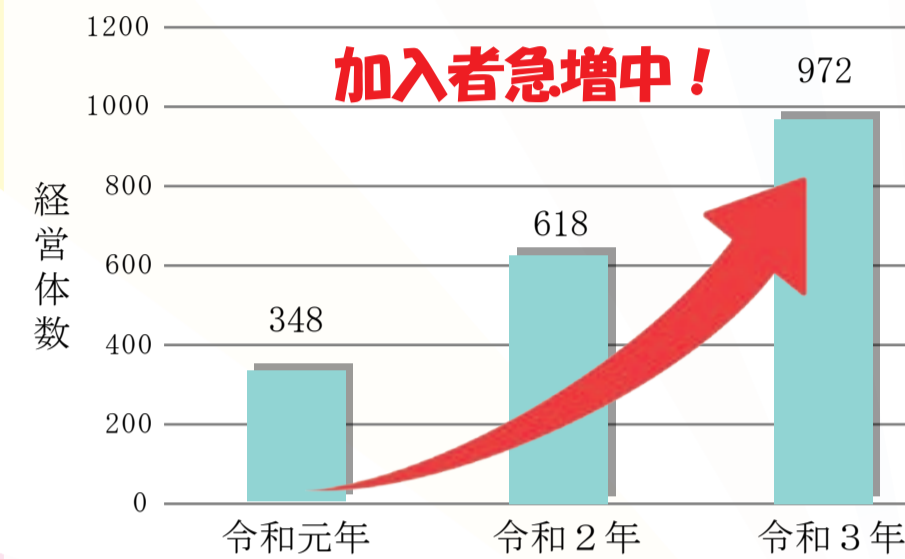


⚠ 10月から翌年3月にかけて、継続的に被害が発生しています！

収入保険

令和4年契約の加入受付中！

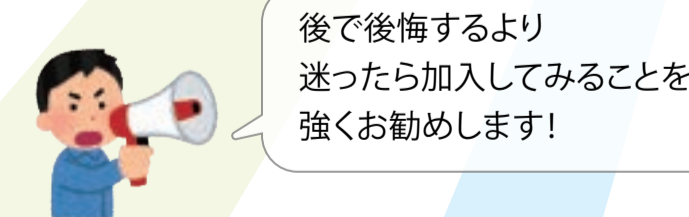
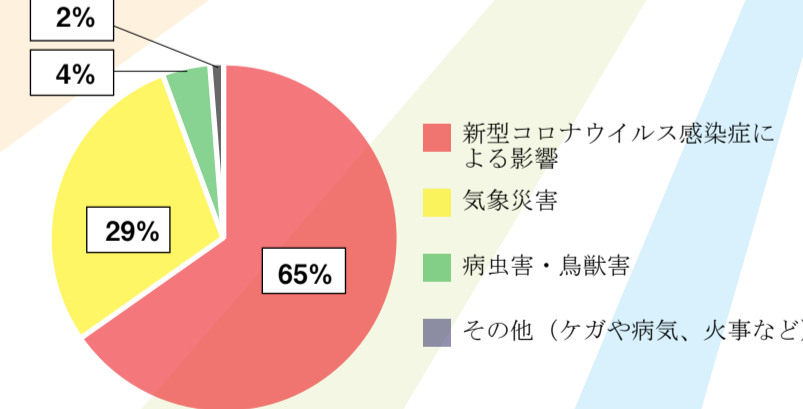
和歌山県における加入経営体数の推移 (令和3年8月末時点)



令和2年契約保険金等支払状況 (令和3年8月末時点)

	支払件数 (経営体)	支払額 (円)	支払割合 (%)
個人	314	715,466,193	51.9
法人	8	68,955,321	61.5
合計	322	784,421,514	52.1

令和2年契約の事故の原因



※お問合せ先は裏表紙に記載しています！
試算もできますので、お気軽にご連絡下さい！

収入保険は自然災害や市場価格の低下、ケガや病気、新型コロナウイルス感染症の影響など、あらゆるリスクによる収入減少を補てんする保険です。県内においても、年々加入される農家さんが増加しており、現在令和4年契約の加入申込受付中です！(個人の方は12月末が締切です。)

関心のある方は、基準収入金額、保険料などの試算をいたしますので、最寄りの事務所までご相談ください。

令和2年契約の支払額は**7億8000万円以上**です。令和2年は新型コロナウイルス感染症による価格低下や暖冬の影響により、加入者の52.1%にあたる322経営体の農家さんに、約7億8442万円の保険金等をお支払いしました。

収入の約1%を経費に追加するだけで、安心の営農を！
収入保険を選ぶ農家さんが増えています！

- CHECK 05** 令和4年契約分より自動継続特約が新設され、継続加入の手続きが不要になります。
- CHECK 04** 加入申請時に青色申告が1年分あれば加入して頂きます。
- CHECK 03** 保険料と事務費は経費として計上できます。補助が適用されます。
- CHECK 02** 掛け捨ての保険料等は農業収入のおよそ1%で、分割払いも可能です。(補てん金のお支払いがなければ保険料は下がります。)
- CHECK 01** 保険料と事務費は経費として計上できます。

POINT ここに注目



収入保険加入者特集!

収入保険が安定経営の支えに

田辺市 宇田川 啓太さん

「収入保険のおかげで翌年の計画を立てやすくなりました」と話すのは、田辺市でウメ110㍎、キウイ20㍎を栽培している茨城県出身の宇田川啓太さん。

大学卒業後、大阪でサラリーマンをしていたが、大学で知りあった奥さんの故郷に移り住み、就農3年目になる。現在は、有機（オーガニック）栽培を行う「田辺印の会」のメンバーとして



活動している。「これまで、自然災害や価格低下などのリスクの全てを、自分が背負わなくてはいけなかった。経営努力だけでは避けられない収入減少をカバーできる保険が始まると聞き、注目していた」と宇田川さん。全国各地の繋がりのあった農家がこぞって加入したこともあり、「収入保険に加入することを決めました」と話す。



基準収入金額（保険期間中の農産物の販売収入）の8割以上が補償されるため、「その年の最低収入が把握できるので、人件費や設備投資などにどのくらい経費がつかい込めるのか計画を立てやすくなるのがいいですね」と語る。

将来は、収入保険を活用して「果樹の栽培面積を増やし、新たに小麦や大豆にも挑戦して行きたい」と意欲を見せている。

家族のために加入

表紙の人 和歌山市 井上 雅博さん

「もしも自分が倒れて農業が出来るなくなつたときに、収入減少分の補てんをしてくれるので安心できる」と話すのは、和歌山市で水稲250㍎、野菜250㍎を栽培している井上雅博さん。家族がいる中、自分にもしものことがあると、収入がなくなってしまう。収入保険に加入していれば、万が一に備えることができ、ケガや病気で営農できなくなるリスクに備えて加入することを決めた。

「オールリスクに対応し、補償額に対して保険料が安いのが魅力」と話す井上さん。「新しい作物にチャレンジしている若い農家にもどんどん勧めたい。制度が難しい、踏み込めないと思っている方もいると思うが、良い保険なので今後どんどん加入者は増えていくのでは」と語ってくれた。



近年、営農規模の拡大を目指した途端に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてしまい、経営が厳しい状況になったが、「収入減少した分を補てんしてくれたことで、予定通り規模拡大をすることができたので助かった」と振り返る。

今年も、これまで安定して売り上げを伸ばしていた春白菜の価格が下落したが、収入保険に加入していることで、安心して農業に取り組むことができてい



孫・朝耶(あさゆ)くん

令和4年度 和歌山県農林大学校

農学部学生・林業研修部研修生募集



農林大学校 HP

和歌山県農林大学校では、農林業に活力を与え、新たな価値を創造するとともに、将来の和歌山県の農林業を振興するリーダーとして活躍できる人材の育成のため、実習に重きをおき実践力を身につける教育を行っています。

令和4年度農学部学生・林業研修部研修生の募集を下記のとおり行います。

農学部（専修学校）2年制

【募集定員】

園芸学科——定員 30名
 アグリビジネス学科——定員 10名

林業研修部 1年制 ※専修学校ではありません

【募集定員】

林業研修部 林業経営コース——定員 10名程度

	農学部		林業研修部	
	推薦入学試験 (定員：募集人員の7割)	一般入学試験（前期）	選考試験（前期）	選考試験（後期）
試験日	令和3年10月5日（火） 午前10時～	令和3年11月30日（火） 午前10時～	令和3年7月3日（土） 午前10時～	令和3年10月16日（土） 午前10時～
試験場所	農林大学校 農学部		農林大学校 林業研修部	
合格発表	令和3年10月12日（火） 午前10時以降	令和3年12月7日（火） 午前10時以降	令和3年7月9日（金） 午前10時以降	令和3年10月22日（金） 午前10時以降
願書受付期間	令和3年9月14日（火）～ 令和3年9月24日（金）	令和3年11月11日（木）～ 令和3年11月18日（木）	令和3年6月8日（火）～ 令和3年6月22日（火）	令和3年9月21日（火）～ 令和3年10月5日（火）
受験資格	令和4年3月までに高等学校を卒業見込みの者 高等学校卒業、または令和4年3月までに高等学校を卒業見込みの者			
問合せ先	和歌山県農林大学校 農学部 〒649-7112 伊都郡かつらぎ町中飯降422 TEL：0736-22-2203 FAX：0736-22-7402		和歌山県農林大学校 林業研修部 〒649-2103 西牟婁郡上富田町生馬1504-1 TEL：0739-47-4141 FAX：0739-47-4150	

※既に終了している部分もございますので、お気をつけ下さい。

部落差別のない社会の実現に向けて

11月1日～11月30日は「同和運動推進月間」です

和歌山県では、令和2年3月に「部落差別の解消の推進に関する条例」を施行し、行政、県民、事業者などが一体となって、部落差別のない社会の実現を目指して取り組んでいます。

しかしながら、依然としてインターネット上に同和地区やその関係者を忌避するといった部落差別の書き込みなどがあり、県が把握した部落差別の書き込みについてはプロバイダなどに対して削除要請を行っていますが、削除されていないものもあります。

このような状況を踏まえ、インターネットを利用した部落差別の解消をより一層推進するため、令和2年12月に、プロバイダの責務を追加するなど条例の一部改正を行いました。

県では、引き続き、部落差別の解消のための教育・啓発や、県民の皆さんからの相談への対応などに取り組んでいきます。

県民の皆さんには、部落差別は過去の問題ではなく現実の課題として残っていることを認識いただき、行政とともに部落差別の解消に取り組んでいただくようお願いします。

部落差別を行うことは決して許されません。部落差別のない豊かで明るい社会の実現にご協力よろしくをお願いします。

同和問題（部落差別）の相談窓口

- （公財）和歌山県人権啓発センター
TEL 073-421-7830 FAX 073-435-5421
- 和歌山県人権政策課
TEL 073-441-2563 FAX 073-433-4540
※各振興局総務県民課でも相談できます。

お問合せ先

- 和歌山県人権政策課
TEL 073-441-2561
FAX 073-433-4540

秋の農作業安全確認運動 実施中！

毎年発生し続けている農作業事故。
 特に、農機具を扱う機会が多くなる秋は事故の発生数も大幅に増加します。

- 声のかけあい
- 周囲や機械の安全確認
- 無理をしないこと

などを心がけて農作業事故0を目指しましょう！

農業共済新聞 購読申し込み受付中！

- 生産現場のアイデアが満載
- 営農と暮らしを豊かにする情報
- 収入保険の最新情報
- 身近な話題が豊富

今話題の収入保険や
 農業共済制度の
 最新の情報が知れる！



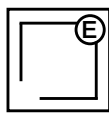
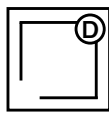
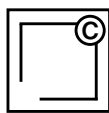
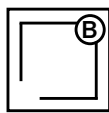
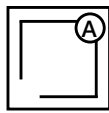
購読料 ▶▶▶ 年額 5,520 円（月4回発行）

2ヶ月の試し読み（無料）も受け付けています。お気軽にお問合せ下さい。

NOSAIわかやま 企画情報課広報係 TEL 073-488-1410



3		5	2					<input type="text"/>
8	9				6		3	
1		<input type="text"/>				5		8
		7			8	2		3
					<input type="text"/>		1	
5			6	1				
	3	1		5	7	8	6	2
2					9			
		<input type="text"/>	1	3		9		<input type="text"/>



A~Eの数字を入れてね!

ルール

- 1マスに1~9の数字の内、1つ入ります。
- どのタテ1列にも同じ数字は入りません。
- どのヨコ1列にも同じ数字は入りません。
- 太線で区切られたどの3×3ブロックにも同じ数字は入りません。

応募方法

○ハガキでの応募、または、○ホームページのクイズ応募フォームに必要事項を入力し、広報紙クイズ係までご応募ください。

正解者の中から5名様にQUOカードを進呈します。
※当選者は発送をもって発表に代えさせていただきます。

〈はがき記入例〉

63円 〒640-8331
 N O S A I 和歌山県 和歌山市美園町
 広報紙クイズ係 J A ビル 5階 5丁目1の1

- ① クイズの答え
- ② 郵便番号・住所
- ③ 氏名・年齢
- ④ 電話番号
- ⑤ 広報紙の感想、NOSAIへのご要望など

応募×切 令和3年11月30日(火)



お問い合わせ

和歌山事務所	〒640-8341 和歌山市黒田21 TEL 073-471-1983
北部支所	〒649-6531 紀の川市粉河681-2 TEL 0736-73-6724
中部支所	〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1696-3 TEL 0737-63-5121
南部支所	〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘24-10 TEL 0739-22-0833

